

第1回 光駅拠点整備デザイン会議

光市 建設部都市政策課

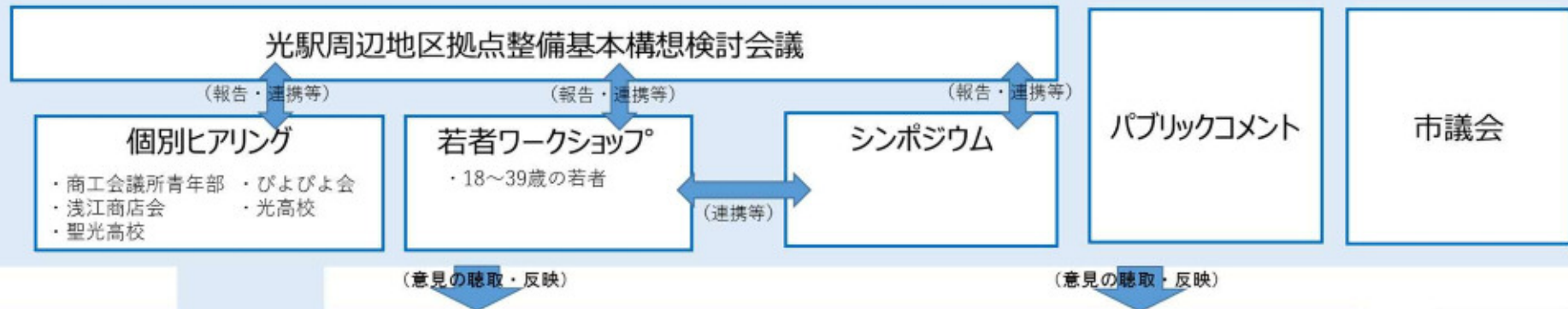
令和元年10月15日

議題 1

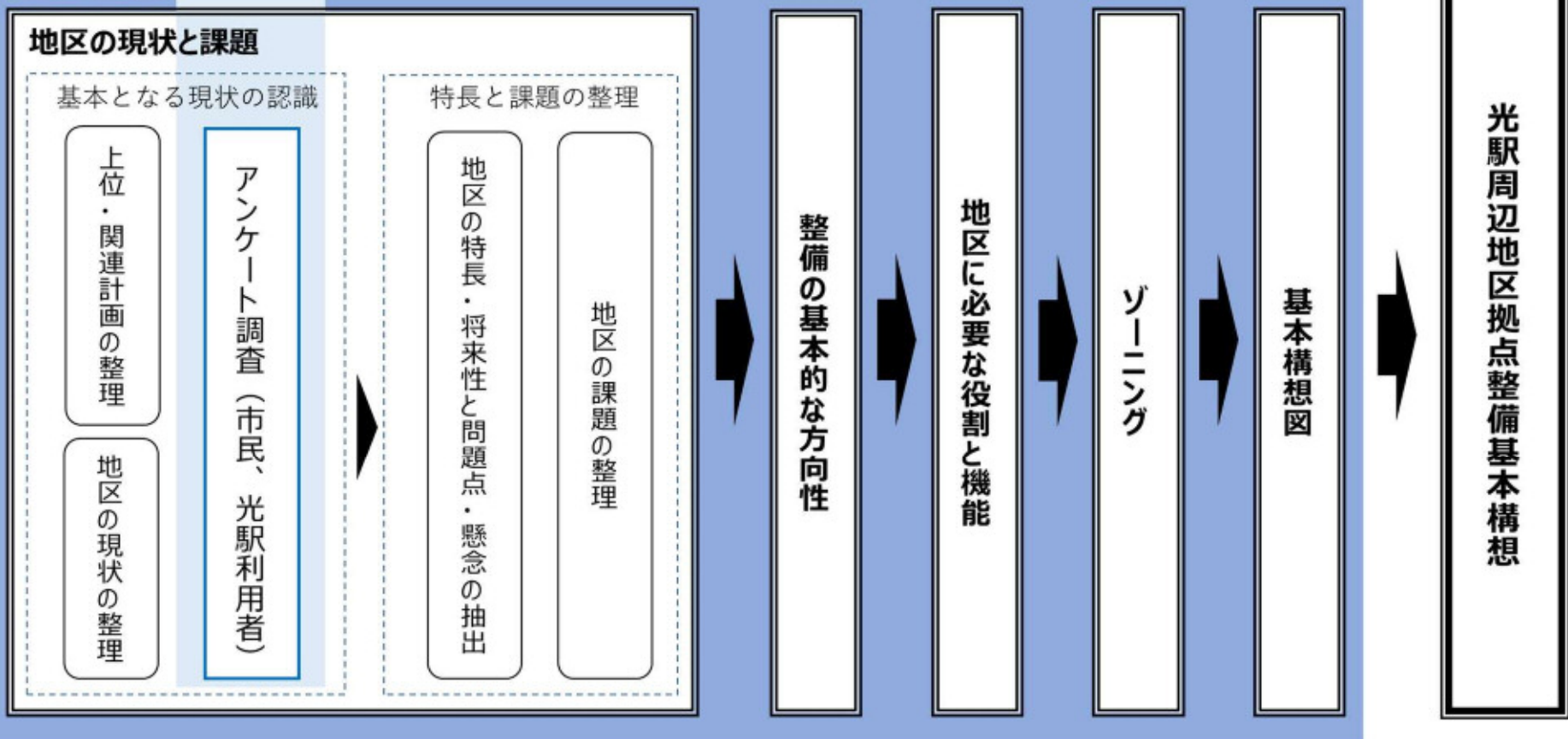
これまでの取組みについて
(基本構想について)

光駅周辺地区拠点整備基本構想 ～策定過程～

【意見聴取・合意形成の場や機会】



【構想の構成】



議題 2

本年度からの取組みについて

本年度からの取組みについて

光駅周辺地区拠点整備基本構想

(平成31年3月策定)

- ◆エリアのクローズアップ
- ◆具体化のファーストステップ

次のステップへ

光駅拠点整備基本計画の策定

(策定主体：光市)

◆内容

基本構想に基づき、右記検討範囲（駅舎を含む南北自由通路、南北両駅前広場（駐車場、駐輪場を含む））の規模や配置、整備スケジュールなどを定める。

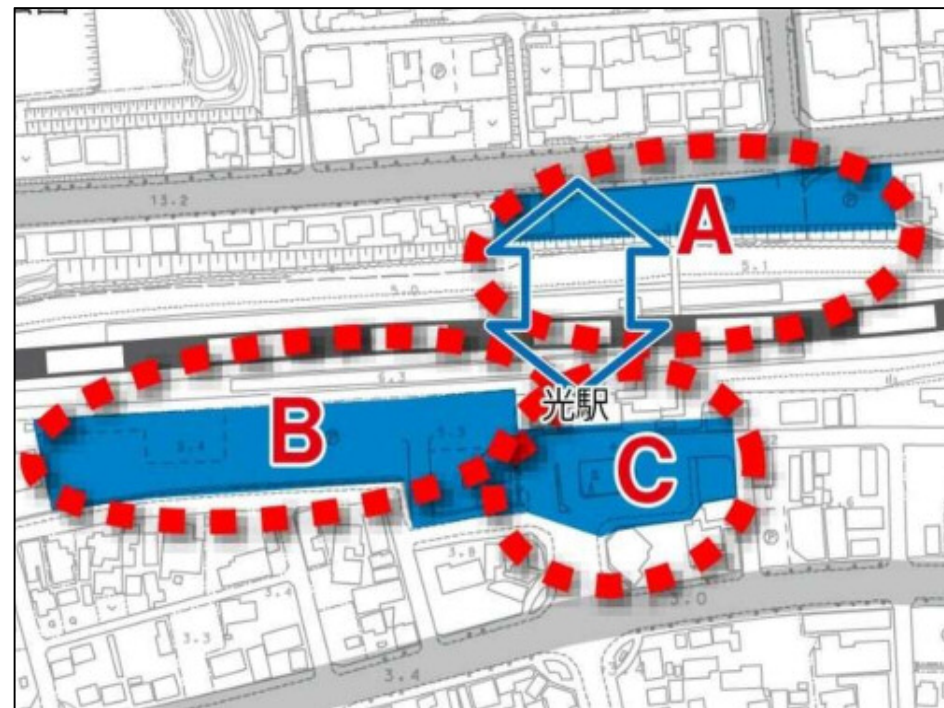
◆策定期間

本年度から概ね令和2年度の半ば頃まで

※市議会の議決案件

◆基本計画の検討範囲

※基本構想の「短期」の取組みで示すエリア



両側矢印：駅舎、南北自由通路

A：北口駅前広場を中心としたエリア

B：南口駐車場・駐輪場を中心としたエリア

C：南口ロータリーを中心としたエリア

基本計画の構成

【意見聴取・合意形成の場や機会】

光駅利用者ワークショップ^o

- ・ 光駅利用者を対象に 3 回実施
- ・ 第 1 回 (9/28)
- ・ 第 2 回 (10/4)
- ・ 第 3 回 (10/26)

アドバイザー

(学術的支援)

光駅拠点整備デザイン会議

(意見・提言・助言等)

パブリック コメント

(意見・提言)

市議会 (議決)

(提案)

(助言等)

【基本計画の構成】

現状と課題

◆利用実態調査

駅や虹ヶ丘跨線橋の利用者数などの利用実態や駐車場、駐輪場、バス、タクシー等の公共交通機関、送迎車両や通過交通などの交通実態を調査。

基本的な方向性

○駅前広場、南北自由通路、駅舎の整備の方向性

整備計画図

概算工事費

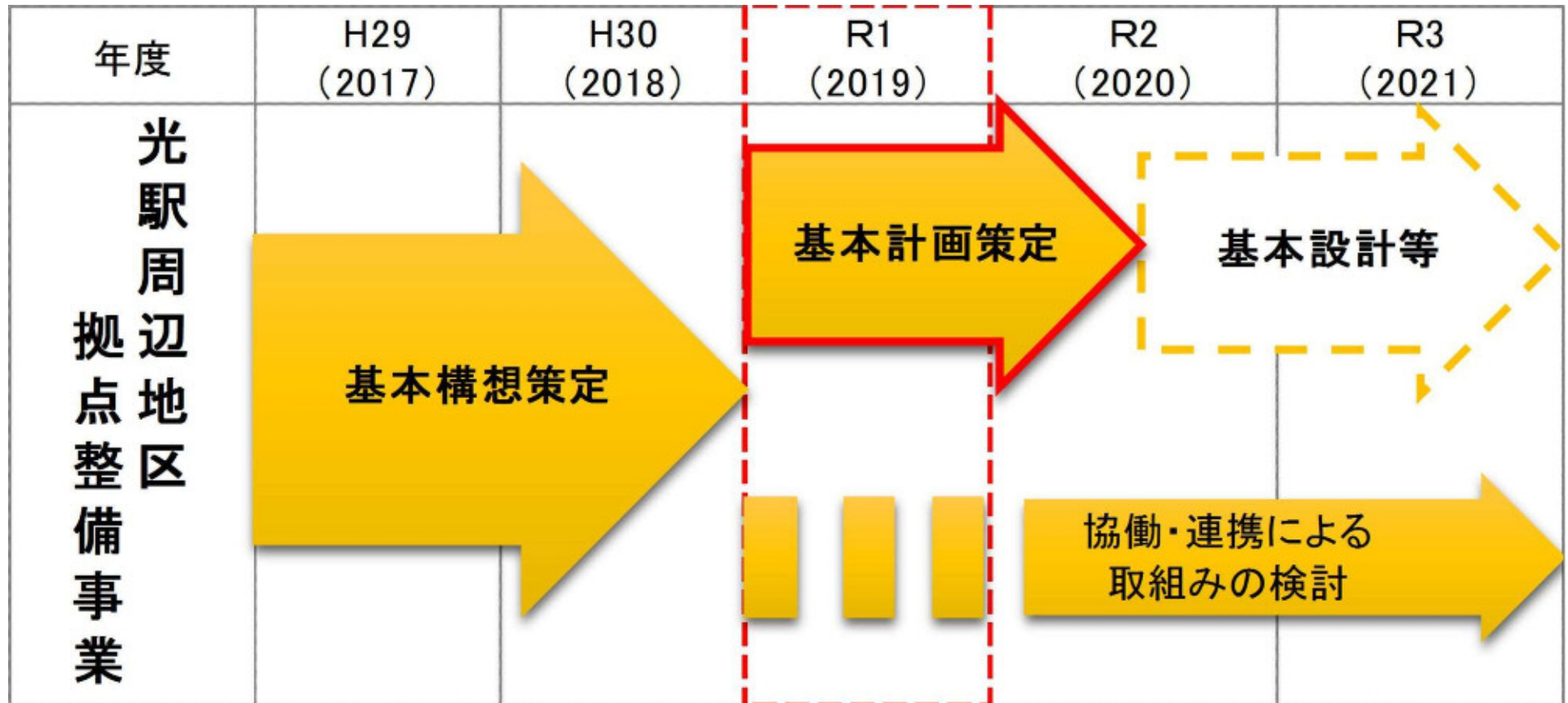
整備スケジュール

基本計画素案

基本計画案

…本日(第1回)の議題箇所

概略スケジュール



議題 3

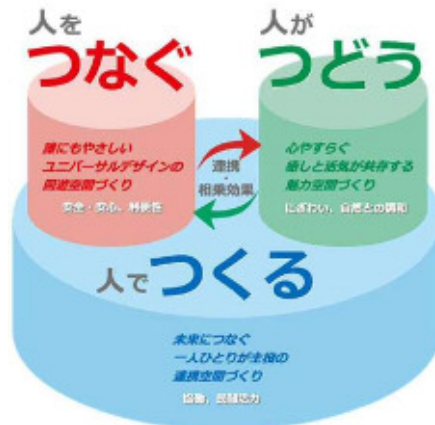
光駅拠点整備デザイン会議
について

設立趣旨

【設置要綱第1条（抜粋）】

光駅周辺地区拠点整備基本構想に掲げる整備の基本的な方向性の一つ
「人をつくる～未来につなぐ 一人ひとりが主役の連携空間づくり～」の
理念を踏まえて、多様な主体の協働・連携を推進し、また、専門的な見
地からの助言等を得ることにより、もって本市にふさわしい玄関づくり
を実現するため、光駅拠点整備デザイン会議（以下「デザイン会議」と
いう。）を設置する。

整備の基本的な方向性



◆委員（20人以内）

○関係団体・事業者

（市民活動団体、交通事業者、経済福祉関係団体など）

○光駅利用者

○公募市民

◆オブザーバー

（関係行政機関）

【設置要綱第7条第3項】

オブザーバーは会議に出席し、意見等を述べることができる。

◆アドバイザー

（学識経験者）

【設置要綱第8条】

市が別に定めるアドバイザーは会議に出席し、専門的な見地から助言等を述べることができる。

会議の設置期間とスケジュール

◆会議の設置期間

基本計画の策定が完了する

概ね令和2年度半ば頃までを予定

◆スケジュール

＜現時点の予定 ※全4～5回程度を想定＞

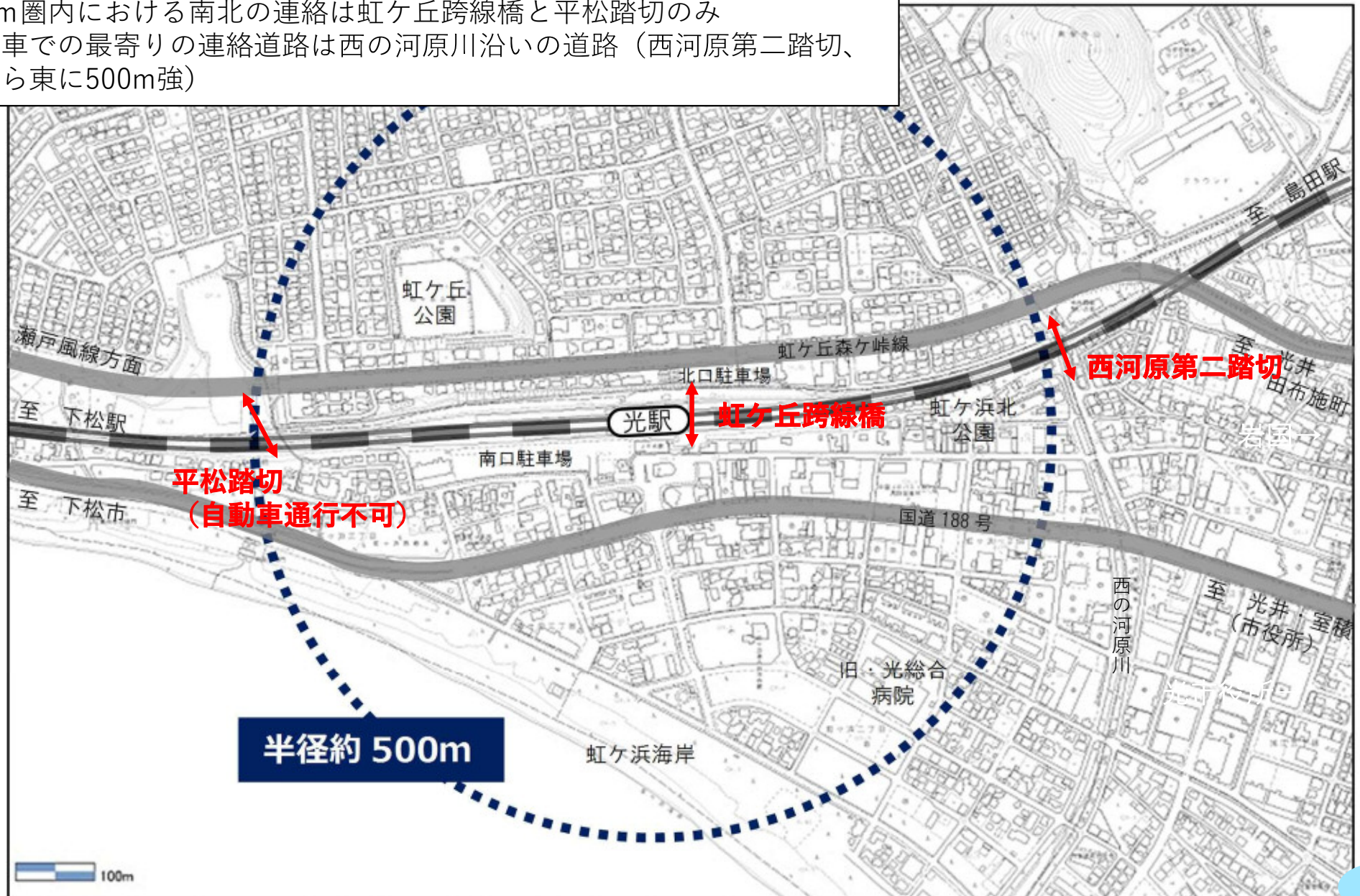
回	日 程
1	令和元年10月15日
2	令和元年秋～冬頃
3	令和元年冬頃
4	・
5	・

議題 4

現状について

光駅的位置

- ・ 光駅の南北では約 5 m の高低差
- ・ 500m 圏内における南北の連絡は虹ヶ丘跨線橋と平松踏切のみ
- ・ 自動車での最寄りの連絡道路は西の河原川沿いの道路（西河原第二踏切、駅から東に500m強）



光駅の概要

項目		概要
J R 光 駅	施設所有者	西日本旅客鉄道株式会社
	路線	J R 山陽本線
	旅客本数	上り：31本 下り：33本
	駅舎建築年	昭和58年（築36年）
	駅構造/ホーム	地平駅/2面4線（うち1線は通過線）
	ホーム間の連絡	乗り換え跨線橋 階段のみ、バリアフリー未対応、 手摺は階段のみ、昭和22年設置（築72年）
	乗車人員(1日平均)	2,417人/日（H29年度, 山口県統計年鑑より）
	トイレ	あり（バリアフリー未対応）

駅 南 北 の 連 絡 施 設	連絡施設		虹ヶ丘跨線橋
	施設所有者		光市
	建築年		昭和42年（築52年）
	駅前広場との 接続	北側	スロープ（勾配約13.8%）、手摺は片側のみ
		南側	階段、手摺は片側のみ
	屋根		なし
	規模		有効幅員2.5m、長さ約90m

駅全景



乗り換え跨線橋（駅構内）



虹ヶ丘跨線橋



光駅の概要

項目		概要	
北口駅前広場・駐車場・駐輪場	土地所有者	光市	
	用途地域等	市街化区域 用途：第一種住居地域（建ぺい率60%、容積率200%）	
	バス	便数等	（バス停路上）3路線 平日16本・休日9本
		待ち合い環境	ベンチ、屋根等なし
	タクシー	乗場なし	
	一般車乗降場	なし	
	市営 駐車場	収容台数	81台 ※障害者等専用駐車マスなし
		料金	200円/日（30分まで無料）
	市営 駐輪場	収容台数	308台
		料金	無料
設備		屋根、ラック	
周辺施設	スーパー、コンビニ、ホテルなど		



光駅の概要

項目		概要	
南口駅前広場・駐車場・駐輪場	土地所有者	光市 西日本旅客鉄道株式会社（駅前ロータリーの一部）	
	用途地域等	市街化区域 用途：商業地域（建ぺい率80%、容積率400%） （駐車場の一部は第一種住居地域（建ぺい率60%、容積率200%））	
	バス	便数等	乗降場5・3路線 平日80本・休日67本
		待ち合い環境	ベンチ、屋根（一部）等なし
	タクシー	乗場1 溜まり場12台	
	一般車乗降場	なし	
	市営 駐車場	収容台数	216台 ※障害者等専用駐車マス2台含む
		料金	200円/日（30分まで無料）
	市営 駐輪場	西側収容台数	280台
		東側収容台数	172台
料金		無料	
設備		屋根、ラック（ともに一部のみ）	
周辺施設	交番、月極駐車場、ホテル、コンビニなど		

南口駐車場



南口駐輪場（西側）



南口ロータリー



南口駐輪場（東側）



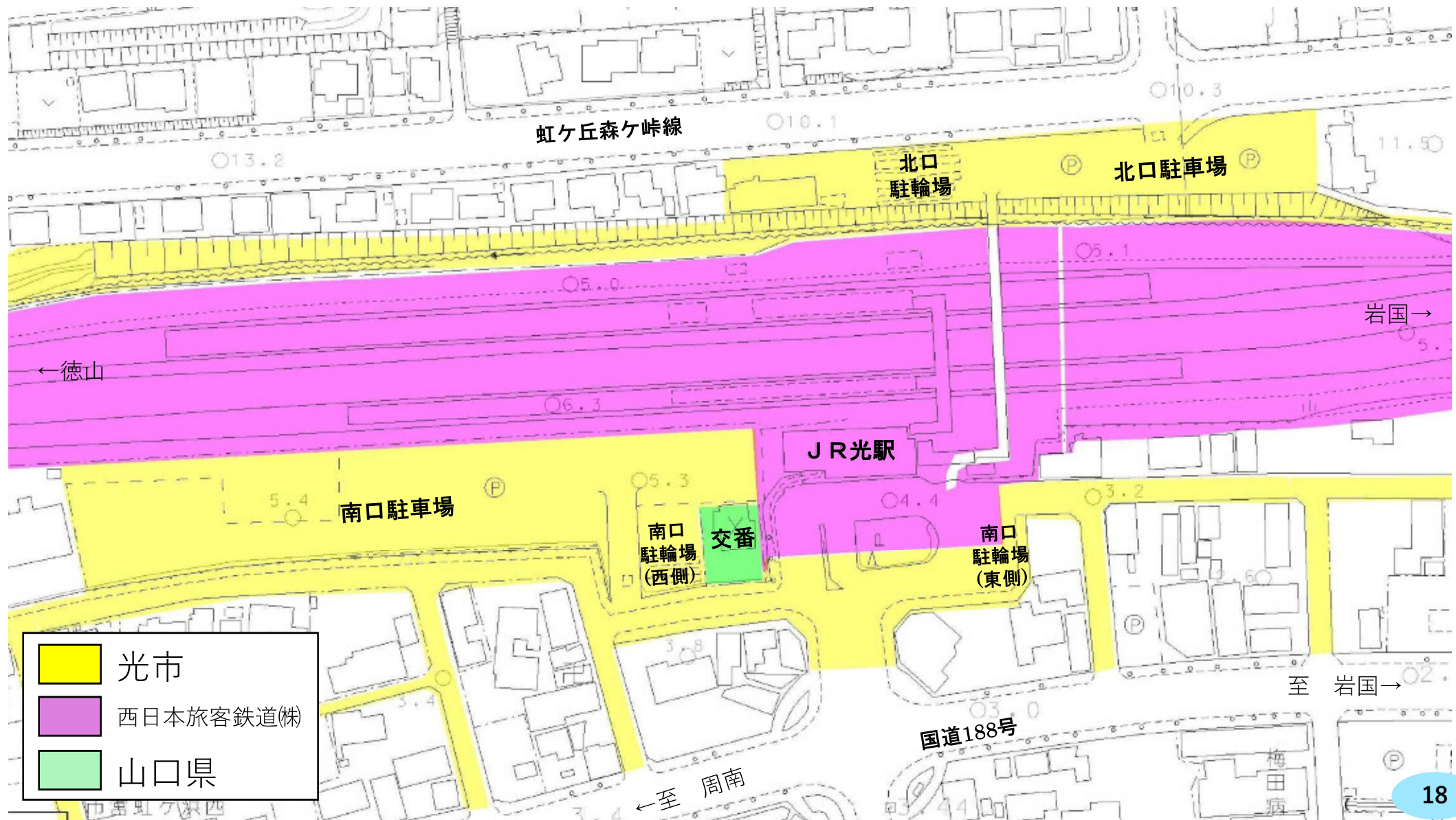
光駅の概要

- ・南口、北口ともに一般車乗降場は無し
- ・北口バス停 (JR/防長)は150mほど離れている



土地所有状況

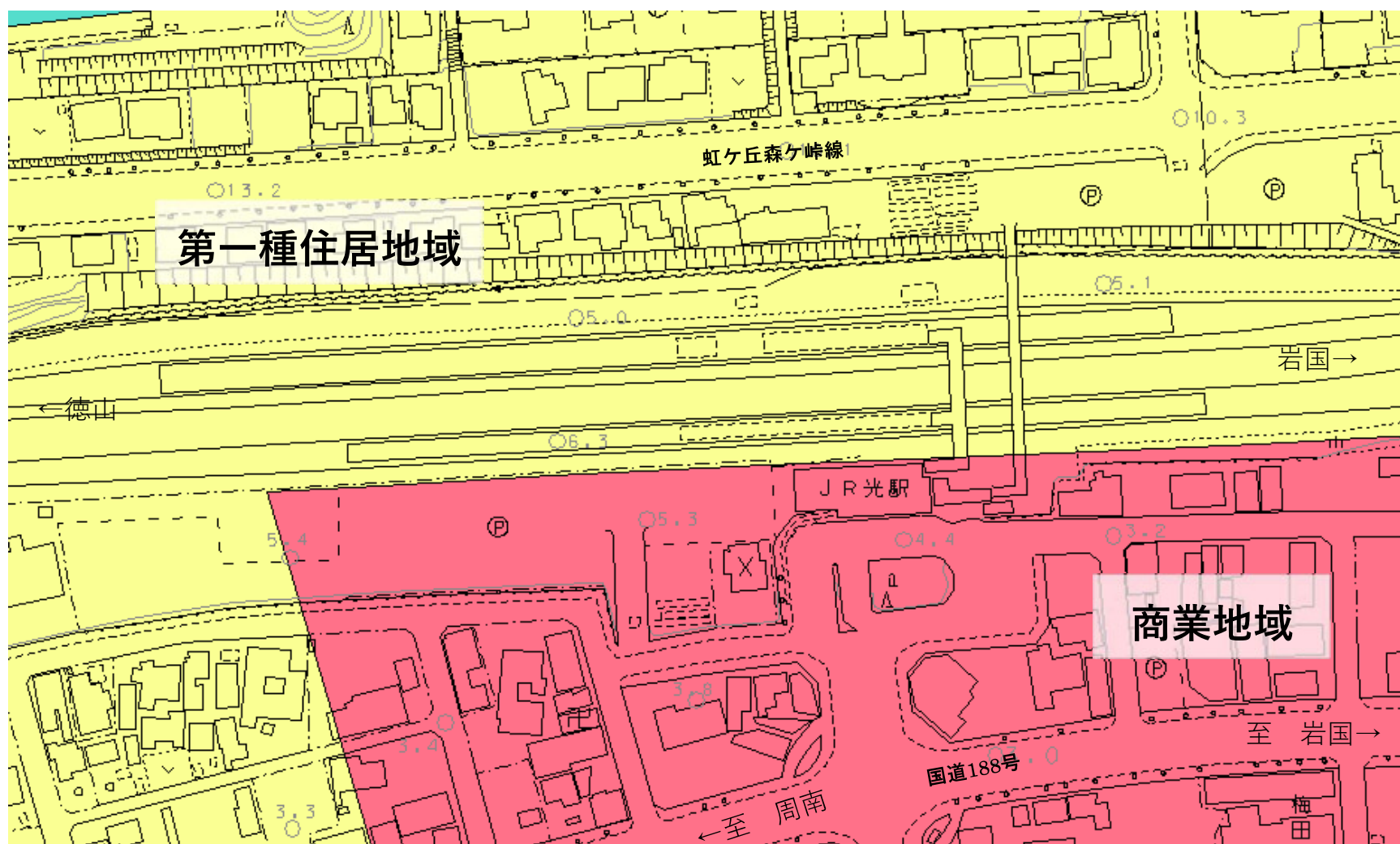
- ・ 南口の駅前ロータリーは光市と西日本旅客鉄道(株)が土地を所有し、協同で管理している状況



用途地域指定の状況

- ・ 光駅北側は第一種住居地域、光駅南側は主に商業地域に指定している。

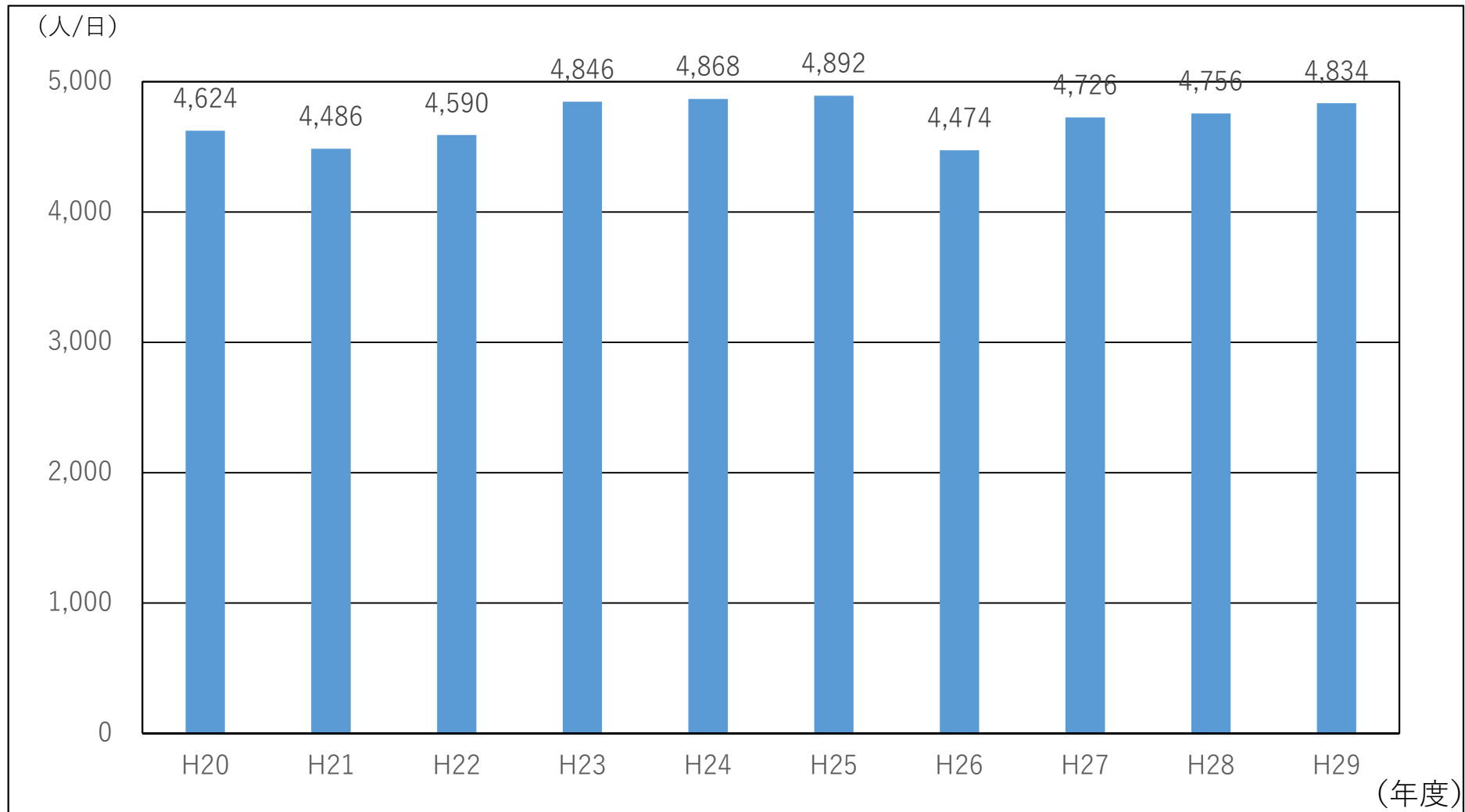
＜用途地域の指定状況＞



JR光駅の利用状況

- ・ JR光駅の乗降客数は1日約4,800人で近年はほぼ横ばい傾向にある。

JR光駅の乗降客数（乗車人員×2）の推移



山口県統計年鑑より作成

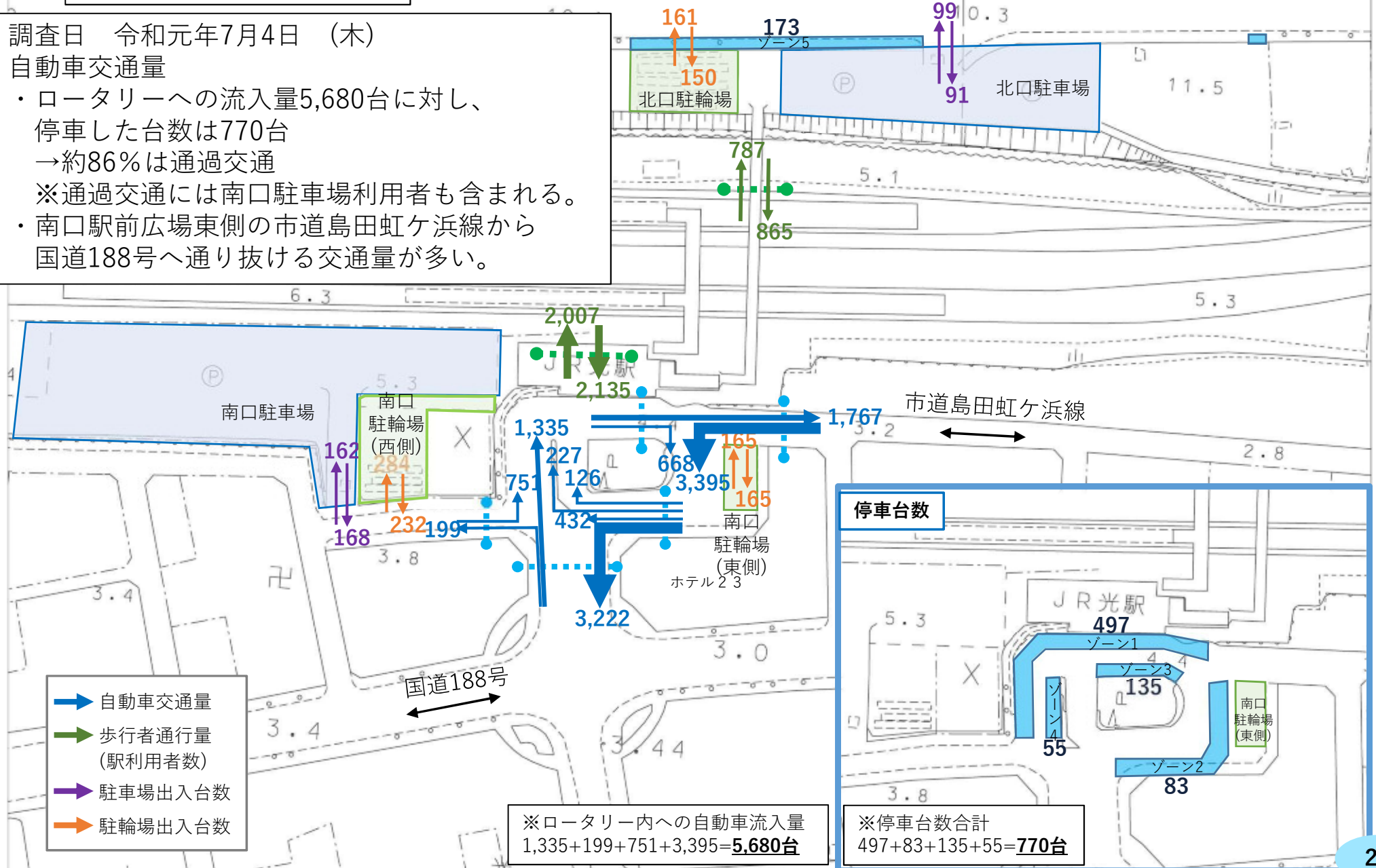
利用実態調査結果概要

平日(6:00~24:00)

調査日 令和元年7月4日 (木)

自動車交通量

- ・ロータリーへの流入量5,680台に対し、
停車した台数は770台
→約86%は通過交通
- ※通過交通には南口駐車場利用者も含まれる。
- ・南口駅前広場東側の市道島田虹ヶ浜線から
国道188号へ通り抜ける交通量が多い。



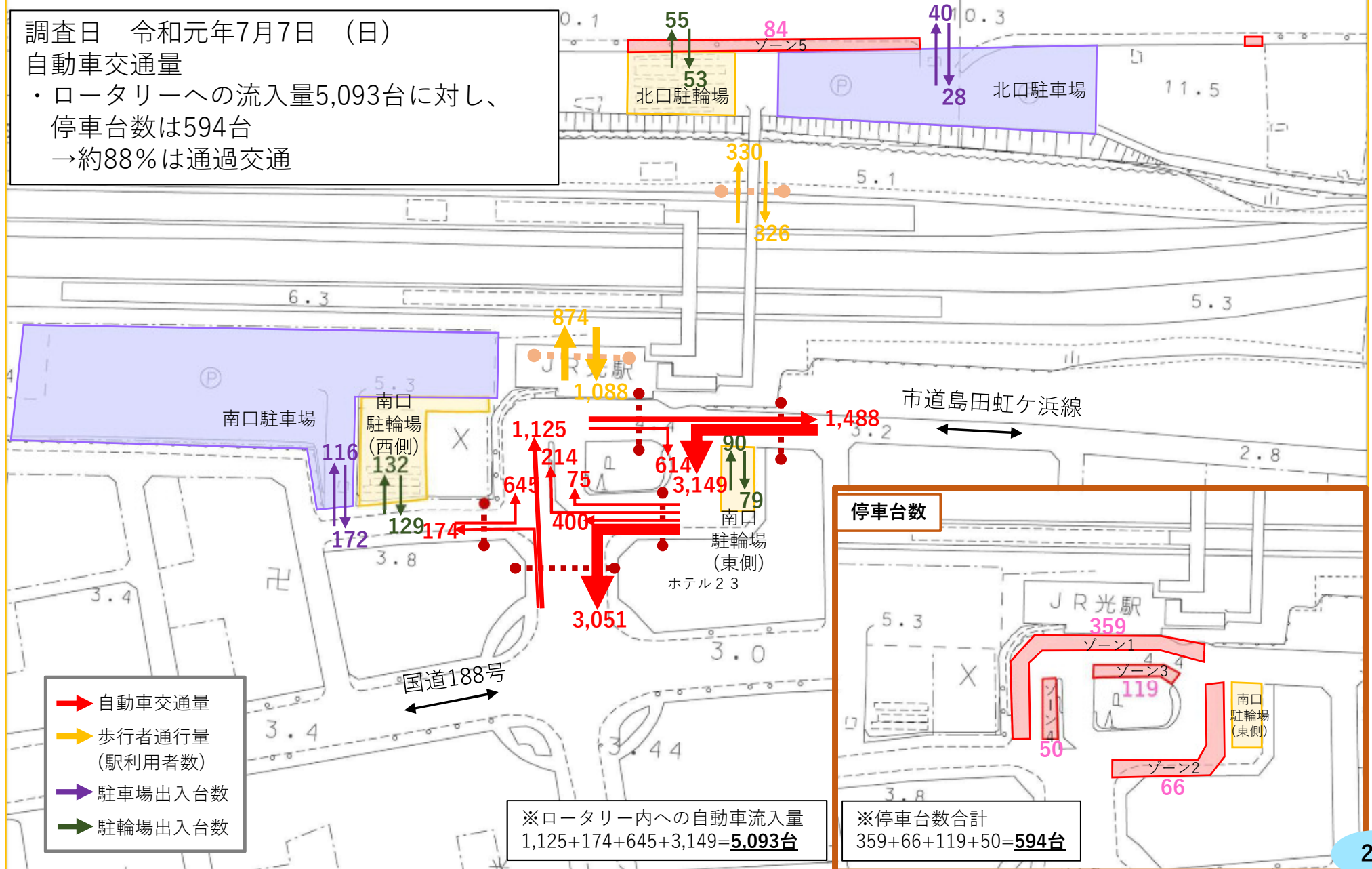
利用実態調査結果概要

休日(6:00~24:00)

調査日 令和元年7月7日 (日)

自動車交通量

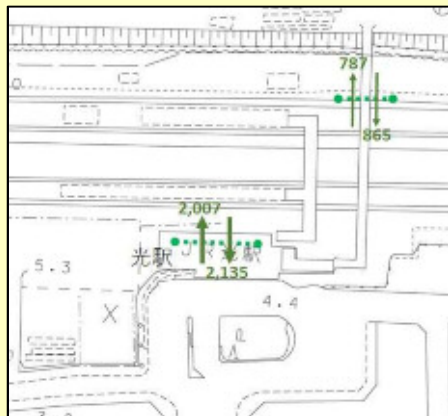
- ・ロータリーへの流入量5,093台に対し、
停車台数は594台
→約88%は通過交通



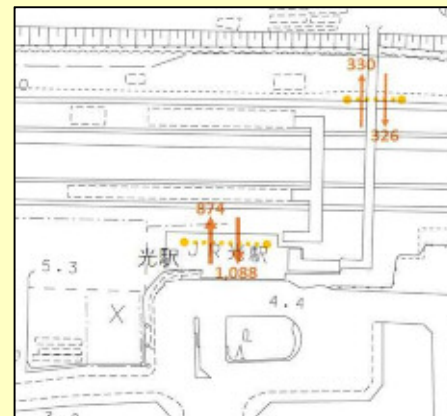
JR光駅、虹ヶ丘跨線橋利用者数

- ・休日1日当りの利用者数はJR光駅が1,962人、虹ヶ丘跨線橋が656人となっている一方、平日1日当りの利用者数はJR光駅が4,142人、虹ヶ丘跨線橋が1,652人となっており、いずれの利用者数も平日が休日の倍以上となっている。
- ・1時間ごとのJR光駅利用者数の集計では、平日は駅構内への入退場ともに7時台、休日では駅構内への入場は9時台、退場は17時台の利用者数がそれぞれ最も多い。
- ・JR光駅利用者の特性としては10代※以下の利用者が多く、平日では半分以上を10代※以下が占めている。
- ・虹ヶ丘跨線橋は浅江小学校などの通学路としても利用されている。

※JR光駅利用者の年齢層については調査員が容姿等から推察したもの。

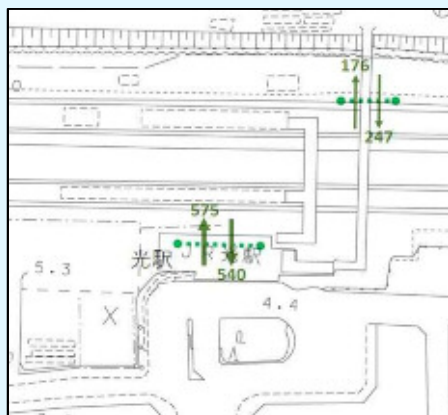


平日 (18時間合計)

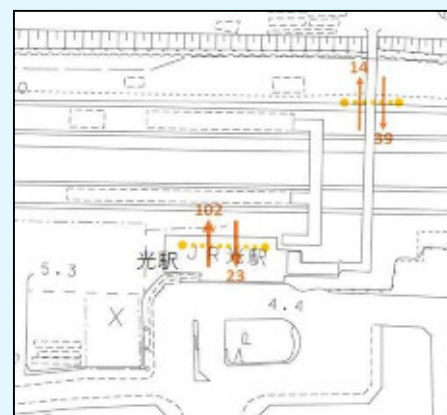


休日 (18時間合計)

JR光駅、虹ヶ丘跨線橋利用者数 (18時間合計)

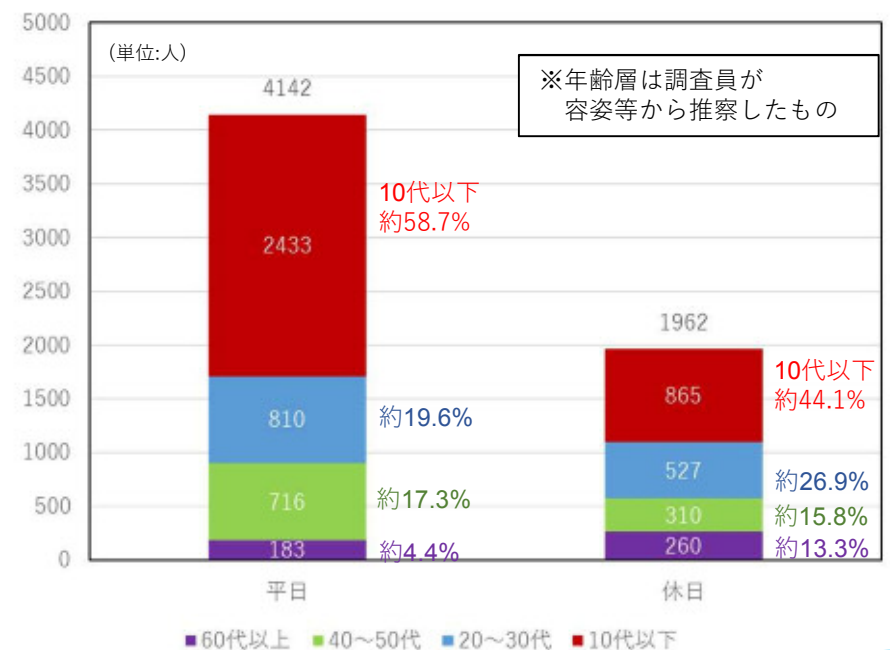


平日 (朝7時)



休日 (9時台)

JR光駅、虹ヶ丘跨線橋利用者数 (朝ピーク1時間)

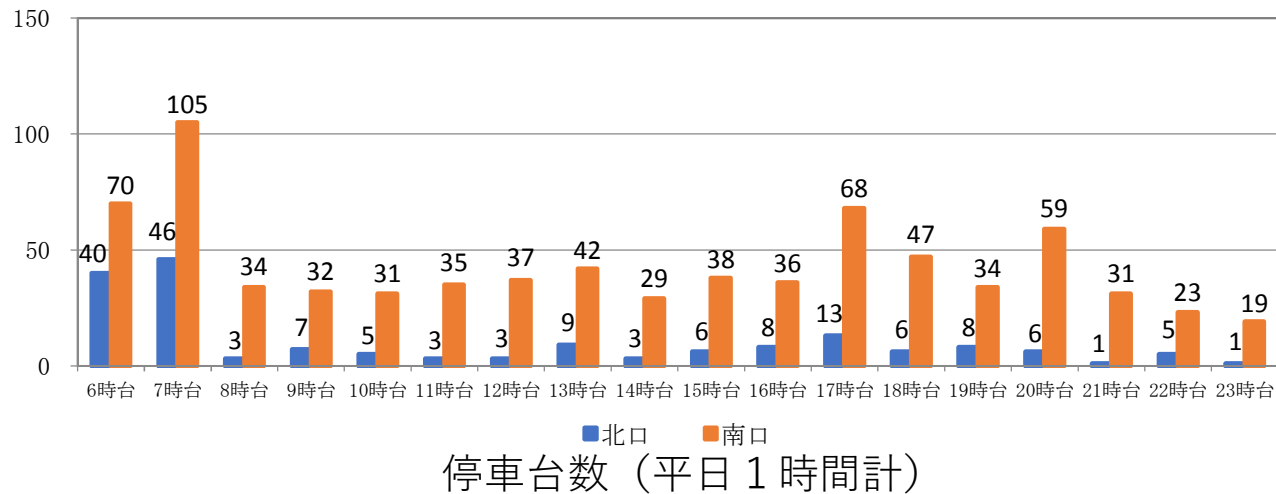


JR光駅利用者数 (年代別)

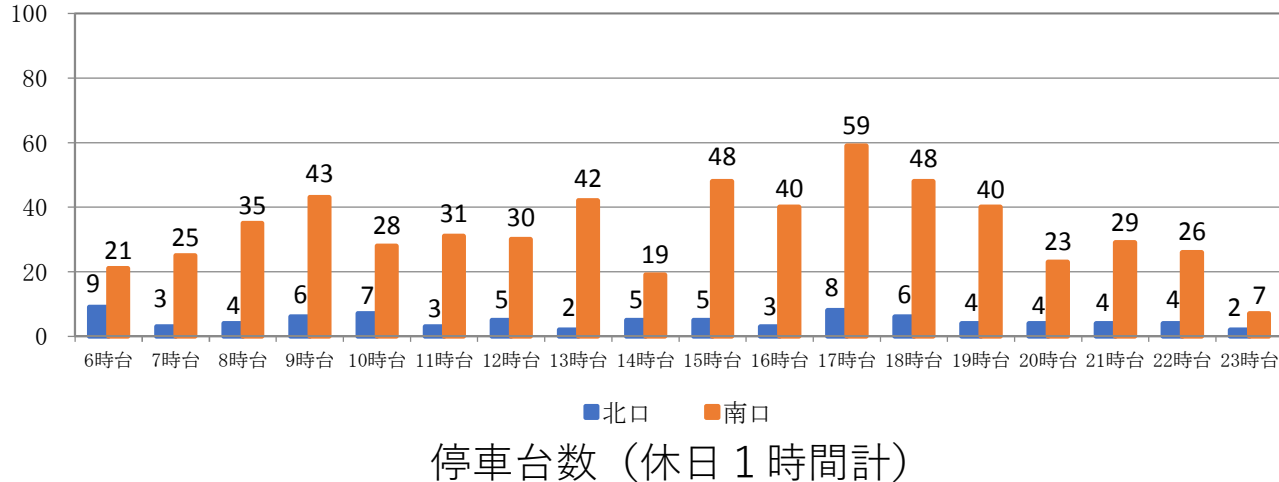
駅前広場自動車停車台数

- ・南口駅前ロータリーの1日当りの停車台数は平日770台に対し、休日は594台であり、平日の方が多い。
- ・北口の虹ヶ丘森ヶ峠線沿線の1日当りの停車台数は平日173台に対し、休日は84台であり、平日が休日の2倍以上となっている。
- ・1時間毎の停車台数を比較すると、最も停車台数が多かった時間帯は、平日は北口、南口ともに、7時台であり、北口は46台、南口は105台、休日は北口が6時台で9台、南口が17時台で59台であった。

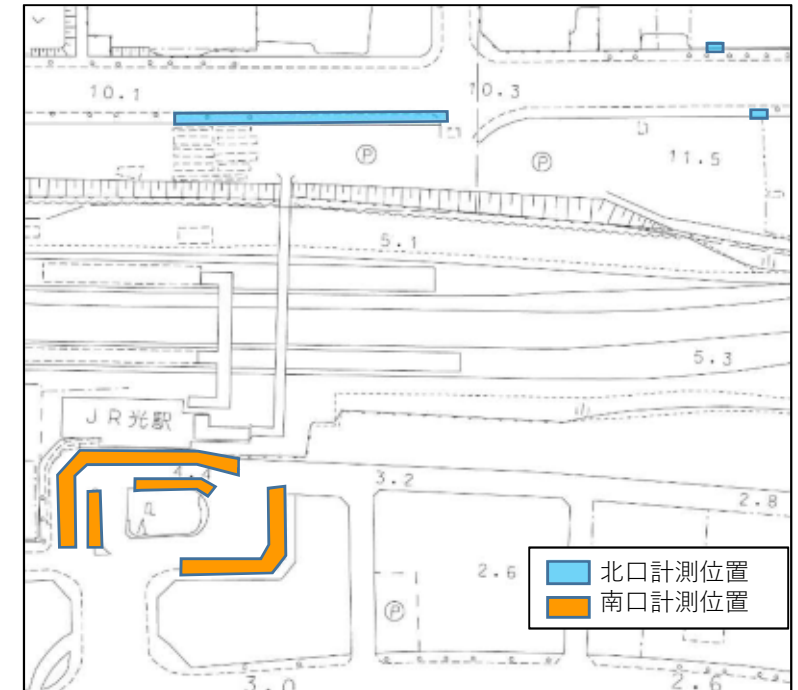
(単位:台)



(単位:台)

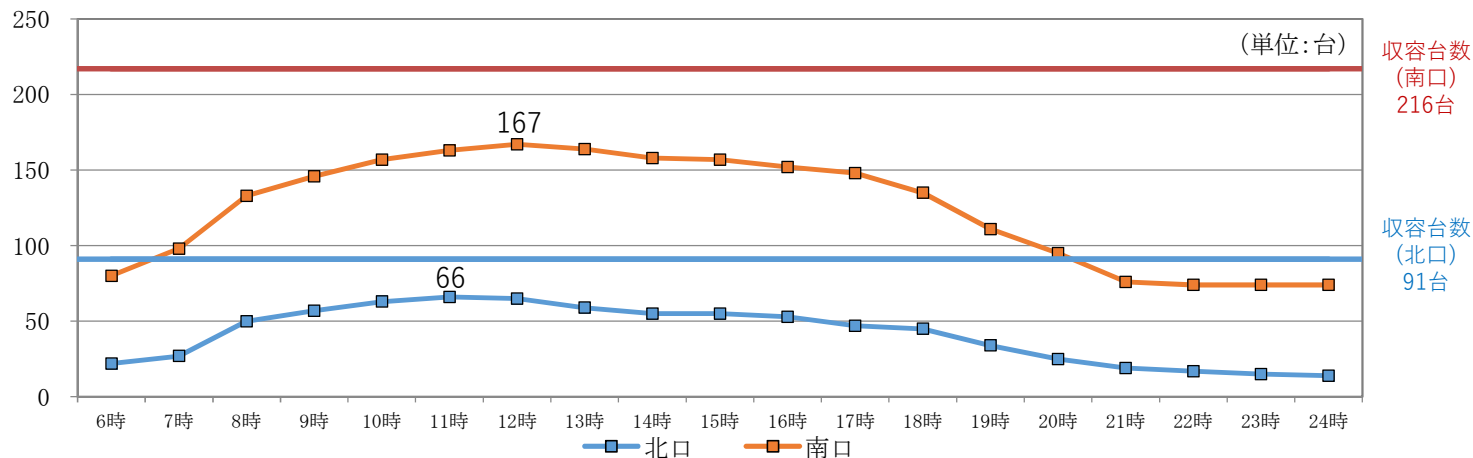


計測位置

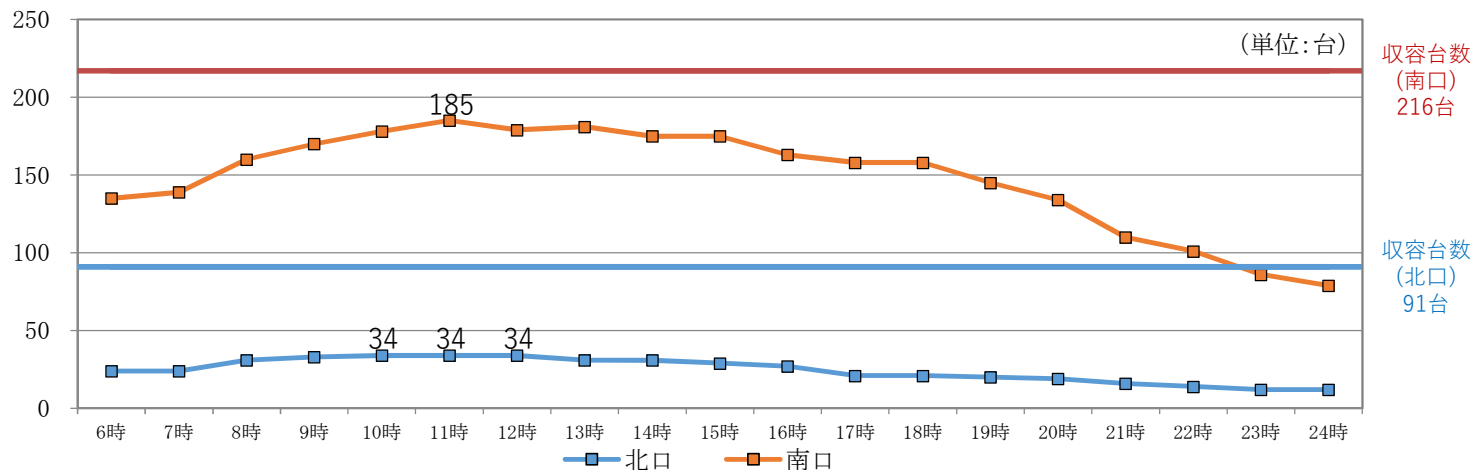


駐車場在庫台数

- ・南口駐車場では在庫台数のピークは平日で167台(12時)、休日で185台(11時)と休日の方が多い。
- ・北口駐車場では在庫台数のピークは平日で66台(11時)、休日で34台(10,11,12時)と平日の方が多い。
- ・北口、南口ともに必要な駐車台数は確保されている。



駐車在庫台数 (平日 1 時間)



駐車在庫台数 (休日 1 時間)



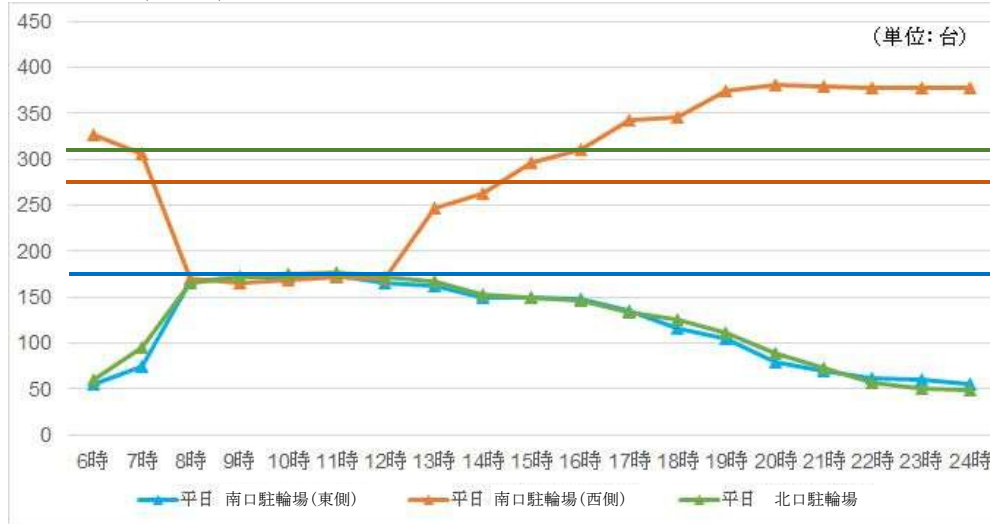
北口駐車場



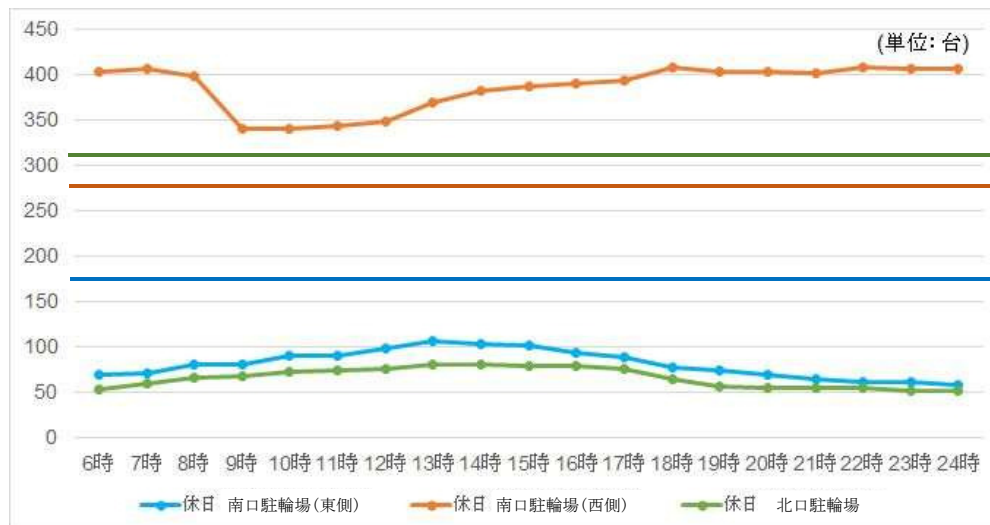
南口駐車場

駐輪場在庫台数

- ・南口駐輪場（東側）、北口駐輪場の平日の在庫台数は昼間が多く、夜間が少ない。
一方で、南口駐輪場（西側）では平日の在庫台数が昼間が少なく、夜間が多い。
- ・休日は在庫台数にあまり変動は見られない。
- ・南口駐輪場（東側）の平日、南口駐輪場（西側）の平日および休日は在庫台数が収容台数を上回り、非常に混雑した状況となっている。



駐輪場在庫台数（平日 1 時間）



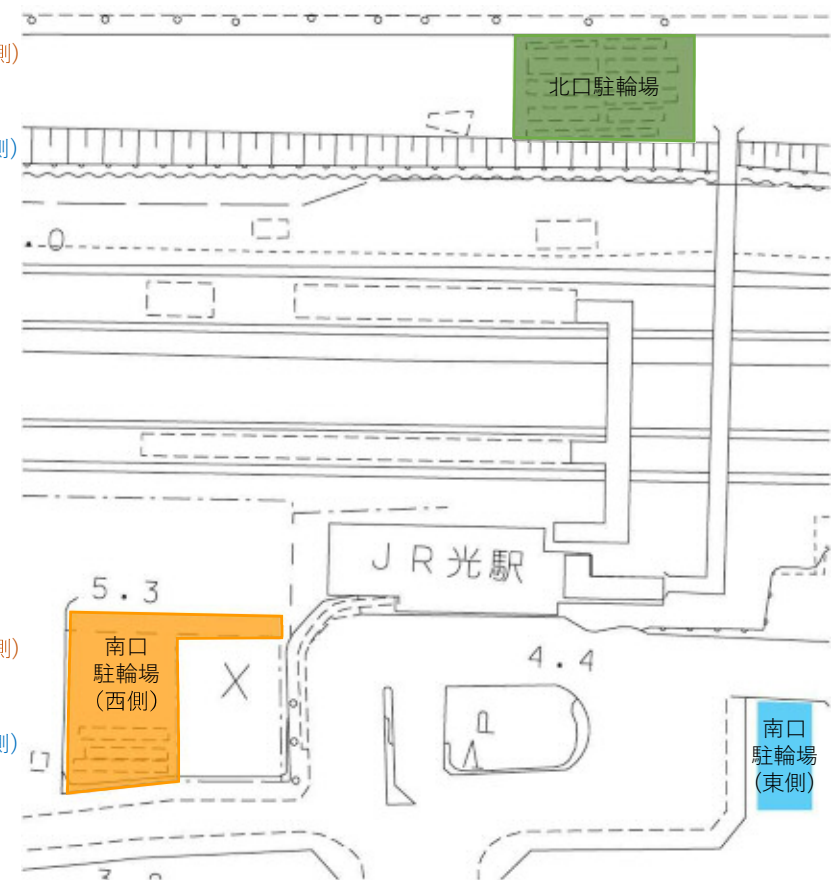
駐輪場在庫台数（休日 1 時間）

収容台数
北口駐輪場
308台

収容台数
南口駐輪場(西側)
280台

収容台数
南口駐輪場(東側)
172台

計測位置



光駅の現状（良い点、悪い点）

良い点・・・青色 ※Wはワークショップでの意見
悪い点・・・赤色 が含まれるもの。

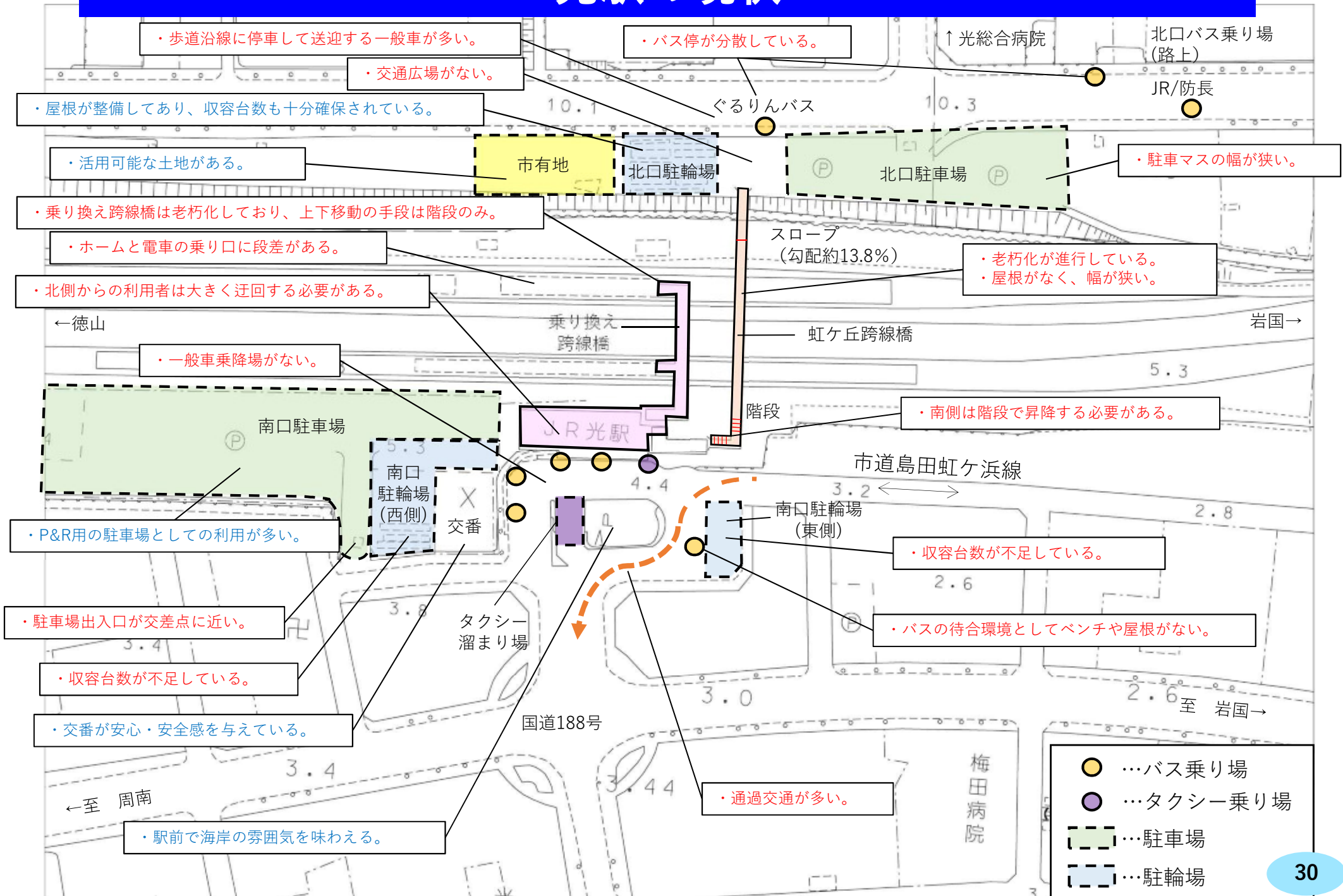
施設		内容
駅南北の連絡 (虹ヶ丘跨線橋)		<ul style="list-style-type: none"> ・駅に近接して鉄道の南北地域を接続しており、駅利用者をはじめ、多くの人に利用されている。 ・虹ヶ丘跨線橋は老朽化が進行している。 W北側は勾配が急なスロープ、南側は階段のみで高齢者や障害者などの移動の障害となっている。 W一定の通行量があるものの、屋根が設置されておらず、有効幅員も2.5mと広くない。
南口駅前広場	交通広場（ロータリー）	<ul style="list-style-type: none"> W電車とバスの発着時刻が合っている。 ・タクシーの溜まり場は十分なスペースが確保されている。 Wロータリー内に流入する自動車のうち80%以上が通過交通であり、特にロータリー東側の市道島田虹ヶ浜線から国道188号へ通り抜けていく車両が多い。 Wロータリー内に一般車乗降場がないため、一般車が送迎等のためにロータリー内の空きスペースへ停車するため混雑する。 ・送迎車への乗降のため、歩行者の車道横断が生じている。 Wロータリー内の自動車での通行方法が分かりにくい。 ・バス停にベンチや屋根（一部）がない。
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> W南口駐車場が広く十分な収容台数が確保されている。 ・南口駐車場には障害者等専用駐車マスが確保されている。 ・南口駐車場は主に通勤で光駅を利用するパーク＆ライド用の駐車場として利用されている。 ・南口駐車場は入り口が交差点に近く安全性に問題がある。 W南口駐車場は夜間など管理人不在の時間帯がある。
	駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> W南口駐輪場（東側）と南口駐輪場（西側）の収容台数が不足しており混雑した状況となっている。 W南口駐輪場（西側）の一部にしか屋根が設置されていない。 ・駅が市域の西端に位置し東側からの利用者が多い。一方で駐輪場が駅の西側にあるため、多くの自転車が駅前広場と国道188号の交差点部を東西方向に通過している。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> W松の植栽により、駅前で海岸の雰囲気味わえる場所となっている。 W光駅前交番が立地しており、光駅を昼夜問わず安心して利用できる。 ・交通空間が主体で交流スペースなどが少なく、“にぎわい”が不足している。

光駅の現状（良い点、悪い点）

良い点・・・青色 ※Wはワークショップでの意見
悪い点・・・赤色 が含まれるもの。

施設		内容
北口駅前広場	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・北口駐車場に駐車マスの幅が狭く利用しづらいほか、送迎車用の優先スペースが分かりづらい。 <p>W北口駐車場は夜間など管理人不在の時間帯がある。</p>
	駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・北口駐輪場は屋根が整備されている。 ・北口駐輪場は必要な収容台数が十分確保されている。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・西側に活用可能な光市所有の土地がある。 ・交通広場がなく、明確なタクシー乗場がないほか、バス停位置が分散しており、乗り換えが不便。 ・バス停にベンチや屋根がない。 <p>W一般車乗降場がないため虹ヶ丘森ヶ峠線の歩道沿いに停車し、送迎を行う一般車が見られるが、将来的に瀬戸風線の開通により交通量の増加が見込まれるため、安全性などに問題がある。</p>
JR光駅設備		<ul style="list-style-type: none"> ・構内に一定の待ち合いスペースがある。 ・虹をあしらった駅舎により虹ヶ浜海岸とのつながりを感じさせる場所となっている。 <p>W乗り換え跨線橋は老朽化しており、上下移動の手段は階段のみで、高齢者や障害者などの移動の障害となっている。</p> <p>W駅舎（改札）は南側のため、北側からの利用者は一度虹ヶ丘跨線橋を渡ってから改札を通る必要がある。</p> <p>W改札がIC化に対応しておらず不便。</p> <p>Wホームと電車の乗り口に段差があり、電車への乗降に対し高齢者や障害者などの移動に障害となっている。</p> <p>Wトイレが老朽化しており、洋式便座や多機能トイレがない。</p> <p>W駅の待ち合いが狭い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売店がない。
その他		<p>W海が近い。</p> <p>Wコンビニが近い。</p> <p>W観光案内の機能が不足している。</p> <p>W滞在空間が不足している。</p> <p>W飲食店やカフェなどのお店が少ない。</p> <p>W子どもを預ける場所や子どもが遊べるスペースがない。</p>

光駅の現状



【メモ】

A large rectangular area with a dashed border, intended for a memo or note. The area is empty and occupies the majority of the page below the header.